

# 第1章 景観に関する現状と課題

## 1 みどり市の沿革

### (1) 位置と地勢

本市は群馬県の東部に位置し、地形は南北に長く、北部には足尾山地が連なり、その山塊に源をもつ渡良瀬川が市の北東から南東にかけて流れ、市の中部から南部にかけてはその清流が作りだした大間々扇状地によって形成されています。

南北には首都東京と栃木県日光市を結ぶ国道122号と、国道122号から分岐して吾妻郡中之条町へと延びる国道353号が走り、南部を茨城県水戸市と群馬県前橋市を結ぶ国道50号が東西に通っています。

鉄道は、JR 両毛線や東武鉄道桐生線、上毛電気鉄道、わたらせ渓谷鐵道の4路線が運行されています。



図1-1 位置

### (2) 沿革

本市を構成する地域は、最初は各地に点在する小さな集落でしたが、明治22年の町村制施行により、笠懸村、大間々町、東村が誕生しました。

昭和29年、大間々町は、福岡村と川内村の一部(高津戸地区)と合併し、昭和33年には勢多郡黒保根村の一部(塩沢地区、上神梅地区、下神梅地区)を編入しました。

平成2年には、笠懸村が町制を施行し、笠懸町となりました。

そして、平成18年3月27日、笠懸町、大間々町、東村の2町1村の合併により、群馬県で12番目の市として現在のみどり市が誕生しました。



図1-2 都市の成り立ち(明治22年の町村施行)

市の北部にある東町は、林業や石材業で栄え、豊かな自然に恵まれた水源地域です。その南にある大間々町は、銅山街道の中継地・宿場町としてにぎわい、歴史ある商店街が形成され、一部で都市化の進行も見られます。市の最南部にある笠懸町は、畑作中心の農村から、郊外型の住宅地として都市化が進んでいます。

本市は、それぞれに特性のある3つの地域から成り立っています。

## 2 景観資源の現状と課題

### (1) 景観資源の類型化

本市には、みどり豊かな山並みやうるおいのある水辺が生み出す自然的景観、多くの史跡や文化財が生み出す歴史的景観、落ち着いた田園風景など土地利用によって生み出される日常的な生活景観など、様々な種類の景観が存在しています。

そこで、市内の景観資源を、生活の景、みどりの景、うるおいの景、歴史の景、にぎわいの景の5つの種別に分類し、それぞれの現状と課題を整理します。また、「みどり市の景観まちづくりに関するアンケート調査※(以下、「市民意向調査」という。)」及び来訪者印象調査※結果をもとに、市民が特に大切に感じている景観資源や本市を訪れる人が魅力的だと感じている景観資源についても、5つの種別に分類します。



図 1-3 景観資源の種別(5つの景)

※ 参考資料 (65 ページ) 参照

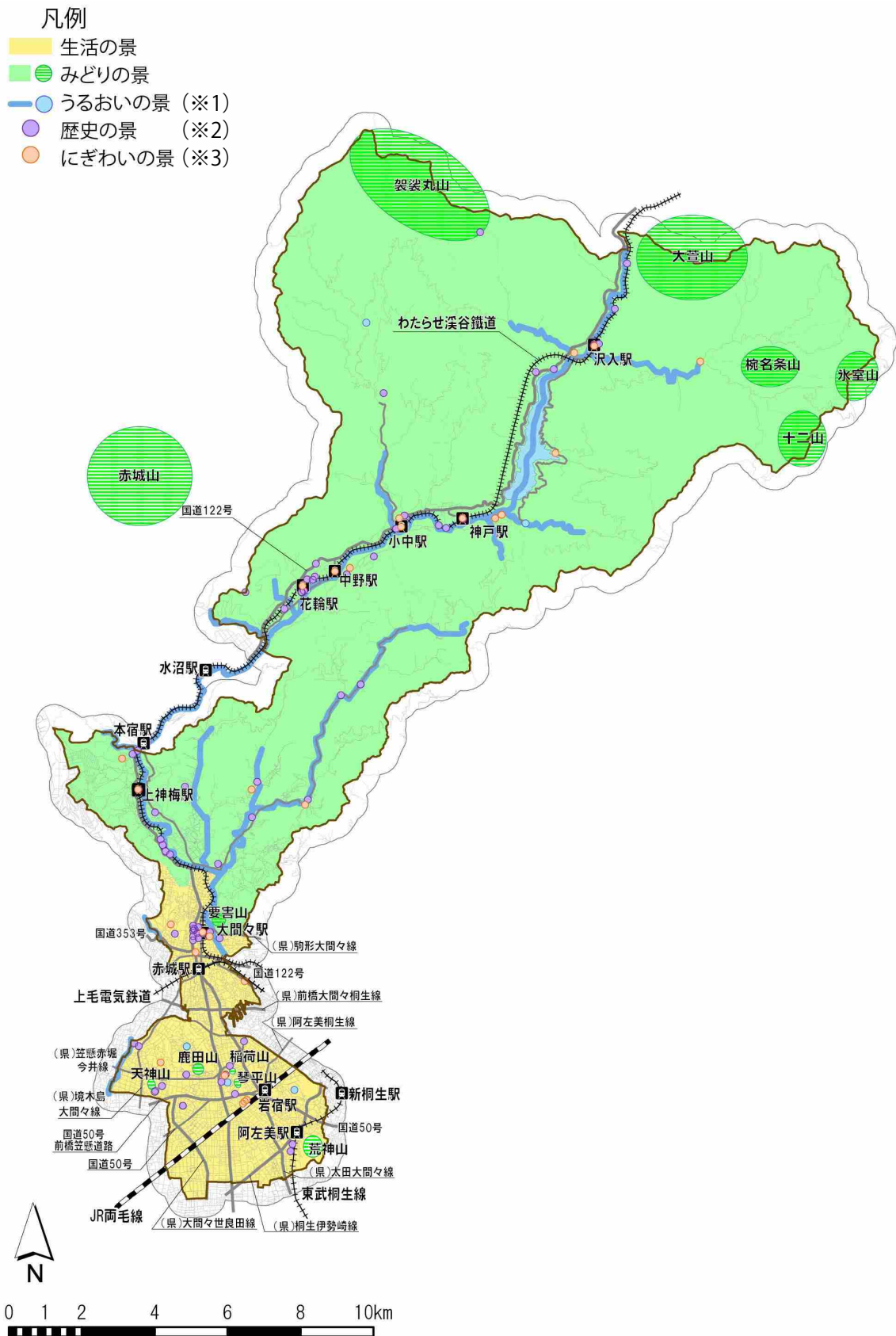


図 1-4 みどり市の景観資源

※1 参考資料 (59 ページ)  
 ※2 参考資料 (60 ページ)  
 ※3 参考資料 (62 ページ) 参照

## (2) 景観資源の現状と課題

### 1) 生活の景

#### ■特性

- 大間々町や笠懸町の市街地では、住宅地や商業地、工業地などの都市的景観が形成されています。
- 市街地の背後には田園風景が広がっており、良好な景観を形成しています。市民意向調査の結果においても「田や畑が広がる農業景観」は満足度の高い項目になっています。

#### 【景観資源】



笠懸町の田園風景



大間々町の市街地



笠懸町の沿道商業地

#### ■問題点

- 住宅地や農地の中に、奇抜な色彩の建物や大規模な地上設置型のソーラーパネルがあるなど、周辺の環境と調和していない建築物・工作物がみられます。また、管理が行き届いていない空き家など景観阻害要因も存在しています。
- 市民意向調査の結果においては、「商業地の景観」「工業地の景観」「駅周辺の景観」の満足度が低くなっています。

#### 【景観阻害要因のイメージ】



周辺環境と調和していない  
奇抜な色彩の建物



周辺環境と調和していない  
大規模なソーラーパネル



管理が行き届いて  
いない空き家

#### ■課題

- 土地利用に応じた、周辺環境と調和した景観を形成することが必要です。
- 大規模なソーラーパネルなどの工作物を設置する際は、景観への配慮が必要です。

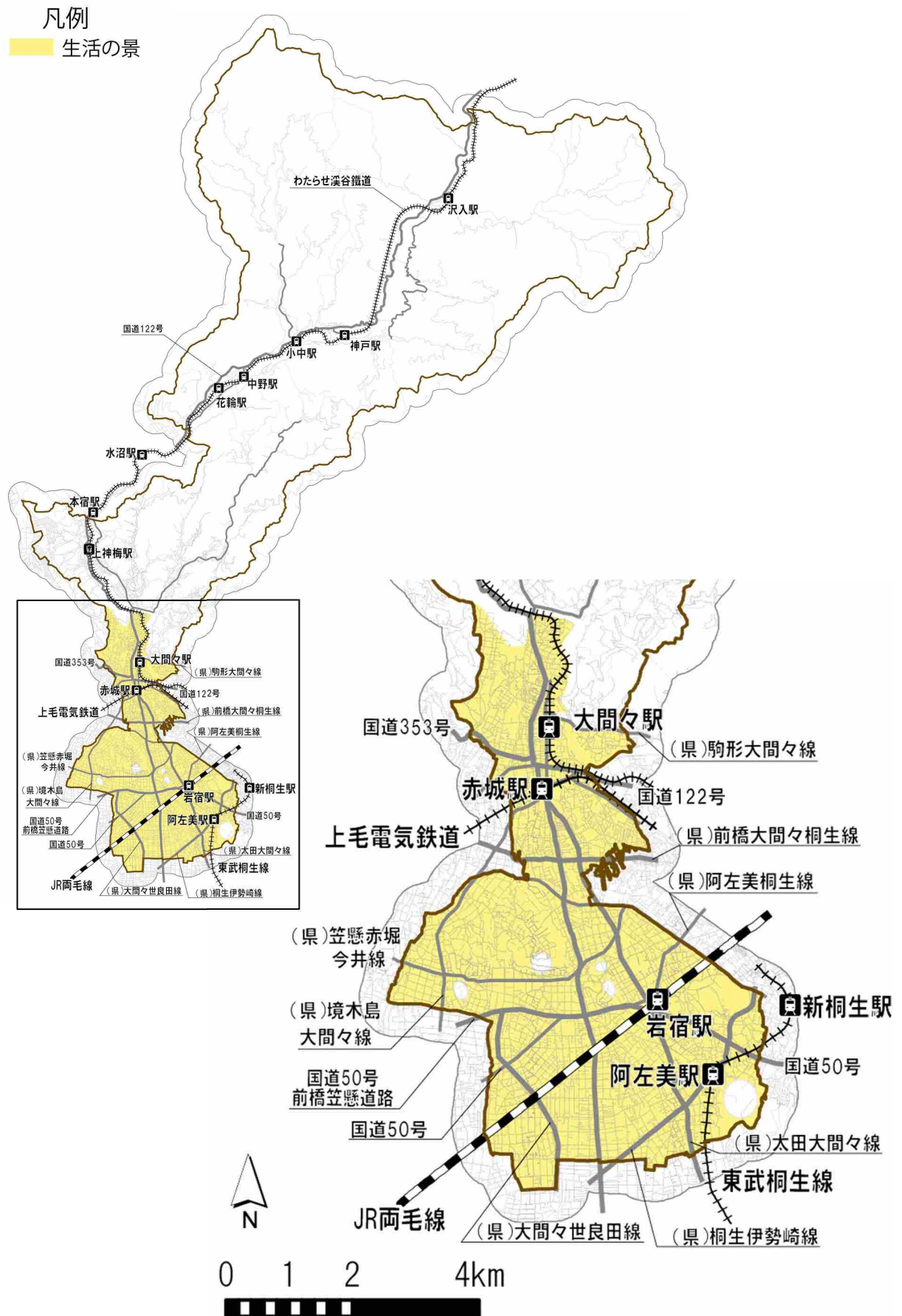


図 1-5 生活の景(図 1-4 からの抜粋)

## 2) みどりの景

### ■特性

- 本市の地形は南北に長く、北部には足尾山地が連なるほか、市の南部には荒神山や稲荷山、琴平山などの自然景観が広がっています。これらの自然景観は、市民の生活にやすらぎを与えるとともに、一部は観光資源としても多くの観光客を迎えており、みどり市の特徴的な山並み景観を形成しています。特に、わたらせ渓谷鐵道沿線は、美しい地域資源と調和した良好な景観が形成されています。
- 東町は、ほぼ全域に森林が広がっており、広域にわたってこの環境を保全する法的担保(保安林、地域森林計画対象民有林や自然環境保全地域などの指定)がなされています。
- 東町では、自然景観のほか、駅周辺には集落景観が形成されています。
- 市民意向調査の結果においては、「山並みなどの自然景観」は満足度の高い項目になっており、桜並木やひまわり畑、紅葉などの四季折々の風景は市民に親しまれています。

### 【景観資源】



琴平山



小夜戸大畑花桃街道



わたらせ渓谷鐵道沿線の自然景観

### ■問題点

- 山間部において、地上設置型のソーラーパネルや資材の野積みなど、景観阻害要因も存在しています。
- 市民意向調査の結果においては、「樹木や雑草が手入れされていない山」や「地上設置型の大型ソーラーパネル」は景観を損ねていると感じるものとして挙げられています。来訪者印象調査の結果においては、「山間にソーラーパネルが見えて残念だった」との意見がありました。

### 【景観阻害要因のイメージ】



周辺環境と調和していない  
大規模なソーラーパネル



資材の野積み



管理が行き届いていない山

### ■課題

- 森林を適正に維持管理し、山並み景観を保全することが必要です。
- 市民に親しまれている四季折々の風景を守り、育てることが重要です。
- わたらせ渓谷鐵道沿線においては、市民や観光客に親しまれている自然景観の維持・保全に努めるなど、地域資源と鉄道が調和した景観形成が必要です。
- 大規模なソーラーパネルなどの工作物を配置する際は、山並み景観への配慮が必要です。

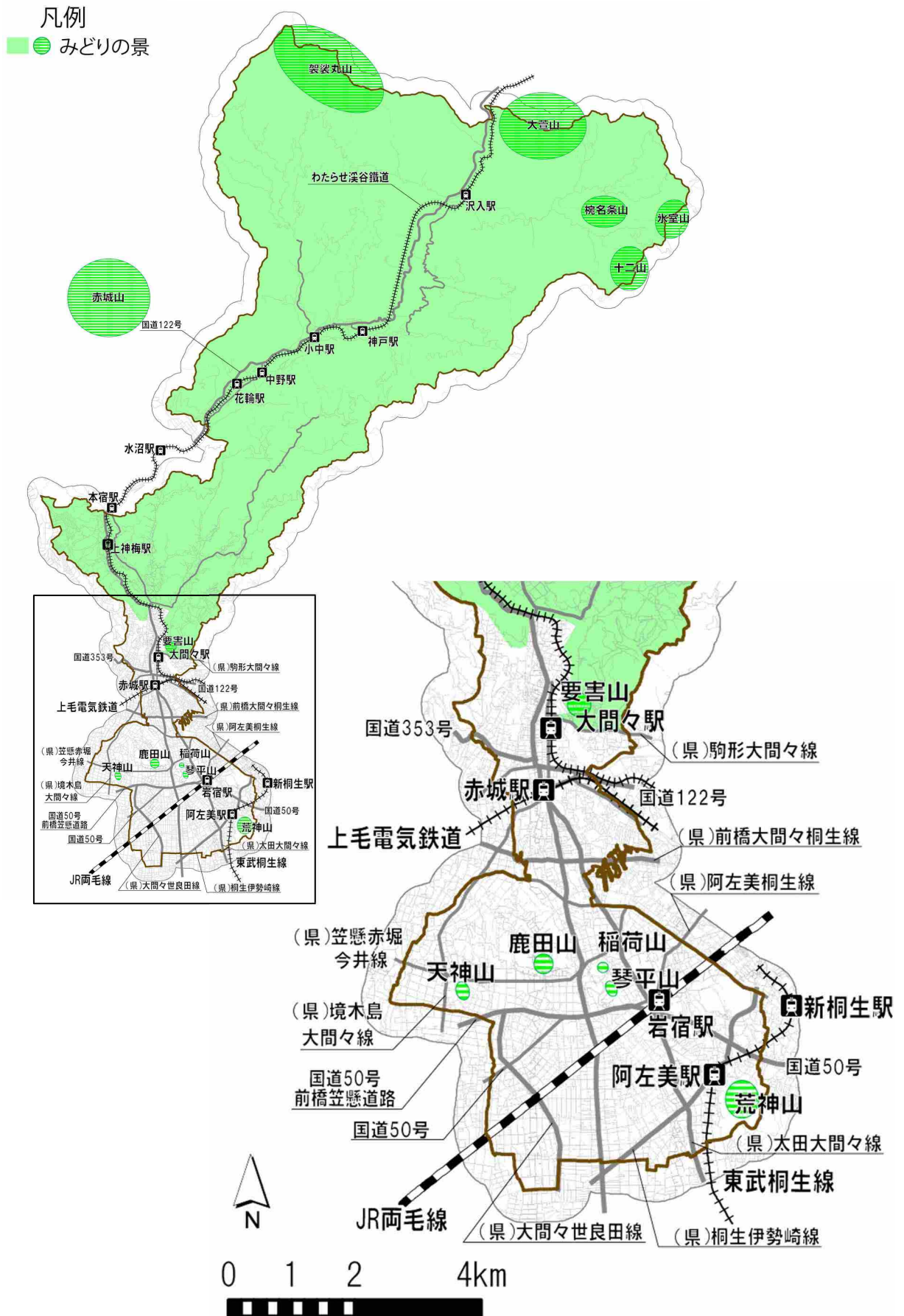


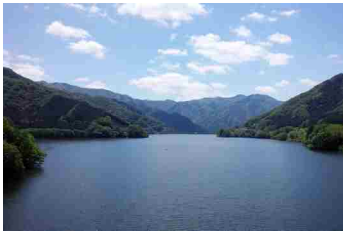
図 1-6 みどりの景(図 1-4 からの抜粋)

### 3) うるおいの景

#### ■特性

- 本市の北東部から南東部にかけて、渡良瀬川が流れており、その清流が市の中央部から南部にかけて流れています。また、草木湖や高津戸峡、阿左美沼などの水辺空間が存在しています。
- これらの水辺空間は、市民の生活に潤いを与えるとともに、一部は観光資源としても多くの観光客を迎えており、良好な水辺景観を形成しています。
- 市民意向調査の結果において「河川などの水辺環境」は満足度の高い項目になっており、高津戸峡や渡良瀬川、草木湖などの水辺景観は市民に親しまれています。

#### 【景観資源】



草木湖



高津戸峡



阿左美沼

#### ■問題点

- 渡良瀬川は、流域の宅地化に伴い、生活雑排水が水路や側溝を通して流入することや、捨てられたゴミなどにより水質が悪化しつつあります。
- 市民意向調査の結果においては、「阿左美沼や鹿の川沼の汚れを改善してほしい」との意見がありました。

#### 【景観阻害要因のイメージ】



管理が行き届いていない  
水辺空間

#### ■課題

- 渡良瀬川や草木湖などをはじめとする水辺空間は、適切な維持管理を行い、水辺景観として保全することが必要です。
- 良好な水辺空間を維持・創出するために、周辺に建物や工作物を建てる際は、水辺空間への配慮が必要です。
- 水辺景観の保全・向上のために、ゴミの不法投棄の防止に努めるなど、良好な景観形成に向けた取組みが重要です。
- 高津戸峡や草木湖などの活用・充実による景観づくりも必要です。





図 1-7 うるおいの景(図 1-4 からの抜粋)

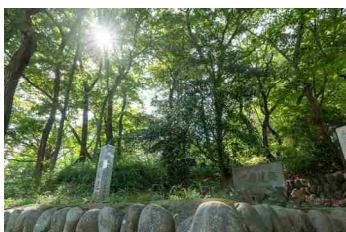
※ 参考資料 (59 ページ) 参照

## 4) 歴史の景

### ■特性

- 本市は、岩宿遺跡などの史跡やながめ余興場などの文化財をはじめとした、多くの歴史・文化資源を有しています。
- 大間々町の市街地は、明治時代以来の在郷町の面影を残す歴史的な街並みを形成しています。また、わたらせ渓谷鐵道沿線の花輪駅周辺においては、銅山街道の宿場町であった面影が残っています。
- 史跡や文化財、在郷町や宿場町の面影を残す街並みは、みどり市の歴史と文化を感じられる歴史的な景観を形成しています。
- 市民意向調査の結果においては、「社寺・歴史・蔵などの歴史的な景観」は、自然景観に関する項目に次いで満足度が高くなっています。

### 【景観資源】



岩宿遺跡



大間々町の蔵のある街並み



旧花輪小学校記念館

### ■問題点

- 大間々町の市街地の空洞化や中山間地の過疎化などにより、歴史的な街並みが失われつつあります。
- 旧大間々銀行(大間々博物館)や旧花輪小学校記念館など、歴史的建造物は老朽化が進んでいます。
- 市民意向調査の結果において、「大間々町の市街地(商店街・本町通り)」は改善してほしい景観にあげられており、「空き家や空き店舗」「街並み」を改善してほしいとの意見がありました。

### 【景観阻害要因のイメージ】



商店街の空き店舗

### ■課題

- 市内の指定・登録文化財は、適切に保存し、歴史・文化を感じる景観としての活用を図ることが重要です。
- 本市の個性として、特徴ある景観の魅力を向上させることも重要です。
- 魅力ある歴史的な景観を維持・創出するために、周辺に建物や工作物を建てる際は、歴史的な資源への配慮が必要です。
- 大間々町の本町通りや銅山街道の沿道、東町の花輪宿においては、観光にも配慮した歴史的街並みを活かした景観形成が必要です。



図 1-8 歴史の景(図 1-4 からの抜粋)

※ 参考資料 (60 ページ) 参照

## 5) にぎわいの景

### ■特性

- 桐生大学グリーンアリーナやファミリーオートキャンプ場そりなどのスポーツ・レクリエーション施設では、市内外の利用者によるにぎわいをみせています。
- 大間々祇園まつりなどの祭事は、昔ながらの伝統を継承する市民の交流の場として重要な地域資源となっています。
- 市民意向調査の結果においては、「大間々祇園まつりの情景」を守りたい景観として意見がありました。
- 岩宿遺跡やながめ余興場周辺などは、観光資源として多くの観光客を迎えています。

### 【景観資源】



大間々祇園まつり



わたらせ渓谷鐵道の  
イルミネーション



ながめ余興場  
(関東菊花大会)

### ■問題点

- スポーツ・レクリエーション施設は老朽化が進んでいます。
- 地域交流の希薄化や少子高齢化などの影響により、伝統文化の後継者不足が危惧されています。

### 【景観阻害要因のイメージ】



老朽化した体育館

### ■課題

- スポーツ・レクリエーション施設や市内の観光施設の適切な維持管理に努め、にぎわいのある景観を形成することが必要です。
- 伝統文化については、価値や重要性について市民への理解を高めるため、市民への周知などの啓発活動に取り組み、次世代に継承していくことが重要です。
- 地域が育んだ有形・無形の資源を生かし、にぎわいのある景観を形成することが必要です。



図 1-9 にぎわいの景(図 1-4 からの抜粋)

※ 参考資料 (62 ページ) 参照